

毎年、締め切り  
前に完売して  
います！！



## 手作りしめ縄はいかがですか？



わいわい工房の手作りしめ縄のご案内をさせていただきます。

今年もコロナウィルスの影響で自粛が続き、大変な一年を過ごされた方も多いと思います。来年こそは平穏な生活が送れることを願い、ひとつひとつ愛情をこめて作り上げていますので、わいわい工房のしめ縄で新年をお迎え頂ければと思います。

縄や飾り等の材料は地元の物を使い、土台の絵もメンバーさんが心を込めて描いてくださっています。毎年、楽しみにして下さっているお客様が沢山おられ、それを励みにメンバーさんと一緒に作っています。お問い合わせ・ご注文などお気軽にわいわい工房にご連絡ください。皆さまからのご注文、お待ちしております。(池上)

## 就労体験に行ってきました！



今回は三原市就労体験事業(主に就労支援施設を利用されている方を対象にした、三原市内の企業で実習を行う事業)を活用して、三原市役所広報戦略課の職場実習をされたメンバーさんから、その様子をインタビュー形式で伺いました。

Q 三原市就労体験事業を利用して、三原市役所広報戦略課で職場実習に参加されたきっかけを教えてください。

A 事務職で就職したいと思っていましたが、なかなか実習させてくれる所もなかったので利用しました。特に三原市役所で実習できるというので、安心して実習することができると思いました。

Q 三原市役所広報戦略課ではどのような実習をされましたか？

A 毎月一度9時から12時くらいの時間で、三原市民の方へ郵送でお届けする広報誌を封筒へ封入する作業を行いました。

Q 実際、職場実習をされた感想を教えてください。

A 実習をする前は、「事務職は余り体力が必要ない仕事」と思っていたのですが、実際にやってみて集中力が重要とされる仕事で、体力が必要な仕事であると気づくことができました。

Q 職場実習をすることで、何か良かったことはありますか？

A 就職をしたいという思いはありましたが、なかなか就職することができず焦っていました。今まで当分の間、就職できずに社会から離れたところにいる思いがありましたが、実習をすることで少しずつではありますが、社会に近づいてきていると思えました。

Q 今後に向けての想いを教えてください。

A 今の実習先がすぐに雇用に繋がらないのは残念ですが、実際に実習をすることで就職するための多くの課題に気付くことができました。今後も継続して実習することで、課題に気付き改善していきたいです。そのことを通じてわいわい工房だけでなく、それ以外の社会の中でも働いていきたいと思えます。



インタビューを通じて、職場体験されたメンバーさんにとって、とても良い体験となっていることが伺えました。このような場を準備して下さった関係者の皆さま、ありがとうございました。(田中)



## 講師はメンバーさん☆

～入院されている方へ、わいわい工房の紹介～



三原病院の開放病棟で開催されている、作業療法のプログラム「さくら教室」にわいわい工房のメンバーさん2名と参加しました。「さくら教室」は入院患者さんが退院して、地域生活へ移行するにあたり、地域生活に必要なことを学ぶプログラムで、今回は「退院して働く場所として紹介して欲しい」と依頼があり参加しました。

そのため今回は、三原病院の作業療法士さんから事前に頂いた質問についてメンバーさんが説明を行い、それに対し入院患者さんから質問を頂くという形で進めました。わいわい工房のメンバーさんの頑張りもあり、入院患者さんから途切れることなく質問が続き、とても盛り上がったように思いました。

作業療法士の中田さんからは「さくら教室にてわいわい工房のお仕事の内容を具体的に教えて頂き、ありがとうございました。実際に働いているメンバーさんのコメントをお聞きできて、患者様にも仕事に対するイメージも付きやすかったです。ありがとうございました」と感想を頂きました。

今後もわいわい工房では、『地域にはこんな障害のある方が働く場所があります』というメッセージを、メンバーさんとともにお伝えしていきたいと思えます。(田中)



## 頑張っています！！～ 霊園清掃 ～



わいわい工房では、本町霊園での清掃作業を週に1回、3時間の作業をさせて頂いています。今までの霊園清掃は小さな草を取ることが多かったのですが、最近は様変わりしており、穴が開いている箇所を埋めたり、葉っぱや溝の土砂等を取り除く作業を行っています。特に最近は降る雨の量が多く、雨の度に溝に土砂がたまりやすくなります。時間を置くと次第に異臭を放ちだすため、その土砂をバケツに移して長い階段の上まで捨てに行くのですが、これがなかなかの重労働になります。そんな中、お参りに来られた方から、「ご苦労様」や「いつもありがとうございます」と声を掛けて頂くことがあり、日々奮闘しているメンバーさんにとって癒しになっているのではと思います。(寺元)



## グループワークに挑戦 ～ テーマ：外出と余暇 ～



10月7日(木)、三原市の有限会社わくわく・ちゃんくすの西上忠臣氏をお招きし、わいわい工房にてメンバーの皆さんとスタッフ一同を交えてグループワークを行いました。グループワークのテーマは「外出と余暇」で、「自分の勝手に使える時間はどこに行きますか?」、「本当は行ってみたいけど、行けない所はありますか?」という、身近でいつもお出かけしている場所と、行ってみたい場所がトピックでした。メンバーさんもスタッフもざっくばらんに楽しそうに活発に発言されていて、グループワークはとても盛り上がっていました。私自身、対面でのグループワークの素敵な所を再実感でき、とてもよい経験になりました。(井上)

